

## 中学2年生（担当 大和田）

みなさん、こんにちは。

今回の課題も前回に引き続き、休校明けの授業の予習となります。それぞれ教科書を参考にしてプリントの穴埋めを完成させ次の登校日に提出してください。

元気に再会できるのを楽しみにしています！

### No. 5 宗教のおこりと三大宗教（P30～31）

#### 【宗教のおこり】

原始時代の人々は、太陽や月、星の動きといった宇宙の出来事、また季節や天気の移り変わりや動植物の営みなどの自然の働きに、人間をこえる力を感じて、神について考えるようになりました。人々は、病気や貧しさなどの苦しみからのがれるためや、自分や一族の成功や発展を願って、神にいのるようになり、また死後の世界について考えることもありました。これに応じて神の教えを説く者が現れ、儀式や聖典も整えられて、**宗教が成立**しました。人類の集団はどれも、それぞれの神と宗教を持っていましたが、いくつかの宗教は、信じる者全てが救われると教えて、地域や時代をこえて広まりました。

#### 【仏教のおこり】

紀元前 5 世紀ごろのインドに生まれた（ ）＝（釈迦）は、人の一生は苦しみが多いけれども、修行を積めば心の安らぎを得られると教え、（ ）がおこりました。その後も仏教の考え方は発展し、修行よりも他人を助けることを重視する教えや、仏を敬うことで救いを得られるとする教えも生まれました。仏教は東南アジアや中国、日本にも伝えられ、それぞれの地域で独自の発達をとげました。その一方で仏教が生まれたインドでは、古くからの信仰を基に成立した多神教の（ ）が広まり、仏教の信仰は弱まっていきました。

#### 【キリスト教のおこり】

西アジアの（ ）地方では、紀元前から、（ ）を唯一の神とする（ ）が信仰されていました。紀元前後にこの地方に生まれた（ ）は、ユダヤ教を発展させて、人はみな罪を負っているけれども、神の愛を受けられること、また弱者を思いやる心を持つべきことを教えました。この教えは弟子たちによって「（ ）＝（新約聖書）」にまとめられ、（ ）と呼ばれました。キリスト教は、ローマ帝国が国の宗教にしたこともあってヨーロッパで広く信仰されるようになり、その後ヨーロッパ人が世界に進出するのにもなって、アメリカやアジア、アフリカにも伝えられました。

#### 【イスラム教のおこり】

6 世紀のアラビア半島に生まれた（ ）は、ユダヤ教、キリスト教を基に、唯一の神（ ）のお告げを受けたとして、イスラム教の開祖になりました。ムハンマドは、神に絶対的に従うことや、神の像を造って拝んではならないことを説き、聖典の「  
」は、信者の生活や政治、経済活動を定める法としての役割も果たしました。イスラム教は、アラビア半島から西アジアや北アフリカ、東南アジアに広まりました。

## No.6 日本列島の誕生と縄文文化 (P32～33)

### [日本列島の誕生]

( ) 時代にはたびたび、海面が今より 100m 以上も低くなったので、現在の日本列島は、大陸と陸続きになったり、せまい海峡でへだてられたりするだけの時期がありました。そのため、ここには大陸と同じように、( ), ( ), ( ), ( ), ( ), ( ), 野牛などの大形の動物が住んでいました。これらの動物を追って移り住んできた人々は、植物を採集したり、( ) を付けたやりなどを使って動物をとらえたりして、食料にしていました。

人々は 10 人前後の集団を作り、簡単な草ぶきの小屋や岩陰などに住みながら獲物を求めて移動し、( ) を使って暮らしていました。このころすでに、遠くはなれた地域に住む人々どうしが、物を交換し合う仕組みもできていました。

今から 1 万年ほど前に最後の氷期が終わり、氷が解けて海面が上昇しました。それまで大陸の一部であったところは島になり、現在の日本列島の姿が、ほぼできあがりました。

### [縄文文化]

日本列島の人々は、1 万 2000 年ほど前から土器を作り始めました。これはどんぐりなどの木の実を煮て食べるために考え出されたもので、世界的に見ても古い年代とされています。厚手で、低温で焼かれたため黒褐色をしたこの土器は、表面に縄目のような文様が付けられていることが多いので、( ) と呼ばれています。このため、このころの文化を縄文文化、この時代を( ) と呼びます。

縄文時代には植物の栽培が始まりましたが、海面が上昇し、海岸には多くの入り江ができたため、魚や貝が豊富にとれ、くり、どんぐりなどの木の実や、鳥、しか、いのししなどの動物も豊かだったので、農耕や牧畜はあまり発達しませんでした。海岸や水辺には、食べ物の残りかすなどを捨てた( ) ことができました。

人々は集団を作って食料が得やすい場所にとどまり、地面をほったくぼみに柱を立てて屋根をかけた、( ) に分かれて住みました。大人になったことを示す儀式として( ) が行われ、死者の霊の災いを防ぐためと思われる( ) が行われていました。豊かな生産をいのるためのものと考えられる( ) も作られました。

このような縄文時代の人々と、その後大陸から移ってきた人々とが混じり合って、長い年月の間に、共通の言葉や文化を持つ人々が日本列島に広がっていきました。

## No. 7 弥生文化と邪馬台国 (P34~35)

### [弥生文化の成立]

紀元前4世紀ごろ、大陸（主に朝鮮半島）から移り住んだ人々によって、（ ）が九州北部に伝えられ、やがて東日本にまで広がりました。人々は、水田の近くに（ ）を造って住み、たて穴住居の近くには、ねずみや湿気を防ぐための（ ）を造り、収穫した米をたくわえました。

稲作とともに、**青銅器**や**鉄器**などの金属器も伝わりました。もともと（ ）であった銅剣や銅矛も、日本では、銅鏡や銅鐸と同じように、主に（ ）のための宝物として使われるようになりました。鉄器は、武器のほか、木製の農具や船などを造る道具としても使われました。稲作や金属器が伝わったところ、（ ）という、やや高温で焼かれたため**赤褐色**をした、**薄手でかための土器**も作られるようになりました。このため、このころの文化を弥生文化、この時代を（ ）と呼びます。代表的な弥生時代のむらの遺跡に、（ ）（静岡県）や（ ）（佐賀県）があります。

### [国々の誕生]

稲作が盛んになると、社会の仕組みも急速に変わり、小さな国々ができ、人々を支配する有力者＝（ ）や**王**が現れました。中国の歴史書「**史記**」には、紀元前1世紀ごろ、（ ）＝（日本）には（ ）余りの国があり、なかには、楽浪郡を通じて漢に使いを送る国もあったと記されています。また、「**後漢書**」には、1世紀の半ばに現在の福岡平野にあった倭の（ ）の王が、後漢に使いを送り、皇帝から金印を授けられたと書かれており、江戸時代に（ ）（福岡県）で発見された「**金印**」と刻まれた金印は、そのときのものと考えられています。

### [邪馬台国の女王]

3世紀になると、中国では後漢がほろび、**魏**、**蜀**、**呉**の三国に分かれて争いました＝（ ）。そのころ、倭には（ ）という国があり、（ ）に朝貢しました。

魏の歴史を記した「**三国志**」魏書には、倭人についての記述＝（ ）があります。邪馬台国の女王（ ）が、倭の**30余りの小さな国々を従えていた**こと、その国々では、すでに身分のちがいも生まれていたこと、卑弥呼が使いを魏の都に送り、皇帝から「**女王**」という称号と金印を授けられ、**銅鏡100枚などのおくり物を受けた**ことなどが書かれています。邪馬台国のあった場所については、（ ）説と（ ）説とに大きく分かれています。

## No. 8 大王の時代 (P36~37)

### [大和政権の発展]

3世紀後半になると、奈良盆地を中心とする地域に、王を中心に、近畿地方の有力な豪族で構成する強力な勢力＝（ ）が生まれました。王や豪族の墓として大きな（ ）が造られ、大和政権の勢力が広がるにつれて、全国の豪族も、（ ）などの古墳を造るようになりました。古墳が盛んに造られた6世紀末ごろまでを、（ ）と呼びます。

5世紀には、王は（ ）と呼ばれるようになり、有力な豪族たちが、親から子へとそれぞれの役割を引きつぎながら大王に奉仕する仕組みができあがりました。

### [古墳文化]

古墳の多くは表面に石がしきつめられ、さまざまな形の（ ）が置かれました。内部の石室や死者を納めた棺には、初めは、銅鏡、玉、銅剣などの祭りの道具が、後には、かんむり、馬具、鉄製の武器や農具などが納められました。

人々は、太陽神や、水を支配するへびの神など、稲作に関係の深い自然の神々のほか、一族を守る神を信仰していました。国のおこりや大和政権の王たちについての神話や伝承も、次第にまとめられていきました。

### [中国・朝鮮半島との交流]

中国では、4世紀ごろから国内が分裂し、5世紀から6世紀には、南北に分かれて、国々の対立が続きました（南北朝時代）。朝鮮半島では、（ ）と、4世紀ごろにおこった（ ）、（ ）の三国が勢力を争いました。大和政権は、（ ）や伽耶地域＝（ ）の国々と結んで、高句麗や新羅と戦ったことが、（ ）＝（広開土王）碑に記されています。

稻荷山古墳（埼玉県）出土の鉄剣や江田船山古墳（熊本県）出土の鉄刀と、前方後円墳の分布からは、5世紀には、大和政権の王は九州地方から東北地方南部に至る各地の豪族を従え、**大王**と呼ばれていたことが分かります。また南朝の宋の歴史書である「**宋書**」には、同じころ、倭の王としての地位と、朝鮮半島南部の軍事的な指揮権とを中国の皇帝に認めてもらおうとして、たびたび使いを送ったことが記されています＝（ ）。

### [大陸文化を伝えた渡来人]

朝鮮半島との交流の中で、半島から日本列島に、一族で移り住む人々が増えました。こうした（ ）は、農業用の大きなため池を造る技術のほか、高温で焼く、かたく黒っぽい土器＝（ ）や鉄製の農具、上質の絹織物を作る技術を伝えました。渡来人はまた、漢字や儒学、さらに6世紀半ばには（ ）を伝えたほか、朝廷の記録や財政に当たったり、外国への手紙を作ったりするなど、さまざまな面で活躍しました。